

資料1-① 自治体における事業者と連携したPCのリユース事例

ソフマップ、岐阜・美濃加茂市の「リユースPC地域再利用事業」で寄贈式

ソフマップは4月21日に、岐阜県美濃加茂市が市で業務使用していたPCをリユースPCとして再生し、市の福祉施設などで活用するための「リユースPC地域再利用事業」として、美濃加茂市へのPC寄贈式を行った。



資料1-② JEMTCによるPCリユース事例

JEMTC

一般社団法人 日本電子機器補修協会

JAPAN ELECTRONIC MACHINE REPAIR TECHNOLOGY CORPORATION

ノートパソコン有償譲渡会開催趣旨

大企業や官公庁では、情報セキュリティを強化するためにパソコン機器を定期的に、最新の状態に保つため機器の入れ替えを行っています。

これらは3～5年のリース契約で運用され使用頻度が少なくこの先も十分使用できる機器が多いことが特徴です。

このジェムテク・ノートパソコン有償譲渡会は全国の自治体単位で既に通算9,000回以上開催し、のべ850,000台のパソコンが有効活用されています。

限られた有効資源の活用と、温室効果ガス（CO2）削減を目的に

パソコン製造事業者・再生事業者・ソフト開発メーカーなどが共同で取り組む社会事業として、多くの皆様に愛されている取り組みです。

会場では有償譲渡されるパソコンが生まれるまで

官公庁や大企業で使用されなくなったリース終了後の余剰パソコンはデータ消去工場に集められます。

工場では厳重な管理の下、データを消去し、美品状態のパソコンだけを選び、様々な起動チェックと点検整備を行います。

こうして再利用できるパソコンを全国各地の一般家庭に有効活用頂けるよう、公共施設や商工会議所をお借りして開催される有償譲渡会で、希望とされる方に有償譲渡しております。

機器は3～5年のリース期間を経たものです。新品とは異なるため、ご自身が会場でパソコン実物を確認頂いてのお譲りとなります。

資料2-①

足立区の投票環境改善方針 足立区投票における諸課題解決 に向けた基本方針

昭和25年の足立区の有権者数は約12.5万人でしたが、平成2年には約47万人、令和4年現在は57万人と一貫して増加しています。また、エリアデザインや再開発などにより、現在進行形でまちの様子はめまぐるしく変化しつつあります。

このような状況の中、足立区選挙管理委員会（以下、「区選管」といいます。）では、有権者の皆様が有する基本的な権利である選挙権を最大限行使していただくため、投票所や期日前投票所の増設・変更など、投票環境の整備に取り組んできました。しかしながら、実現すべき投票環境をあらかじめ定めていなかったこともあり、様々な課題が看過されてきたことは否めません。

また、選挙への参加度合いの尺度となる足立区の投票率は、昨今国政選挙でも50%を下回ることが多く、特別区の中でも下位と大変厳しい状況が続いています。

このため、区選管では選挙時の「投票へ行こう」の呼びかけを中心に、様々な啓発活動を行っていますが、残念ながら低投票率の解消にはつながっていません。根本的な低投票率の解消に向けては、地域や学校、家庭、区選管それぞれが有権者へ働きかけていく必要があります。

当方針は、投票環境の見直しを図る基準などを定めるとともに、投票率向上に向けたそれぞれの主体の役割を明確にし、投票環境の改善や投票率向上に向けた諸課題解決のための指針として活用してまいります。

令和5年2月

足立区選挙管理委員会

資料2-② 足立区の投票環境改善方針

Ⅳ 令和4年参議院議員選挙での取り組み

1 先行実施した項目

本計画の策定にあたり、次の3項目は前倒して令和4年参議院議員選挙から実施しました。

(1) 当日投票区の見直し

一投票区の有権者数が最も多い舎人地区で、過大規模の解消と混雑緩和を図るため、投票区の増設と区域変更を行いました。

また、投票率の低い保木間・花畑地区で、より投票所に近くなる有権者を増やすための区域変更を行いました。

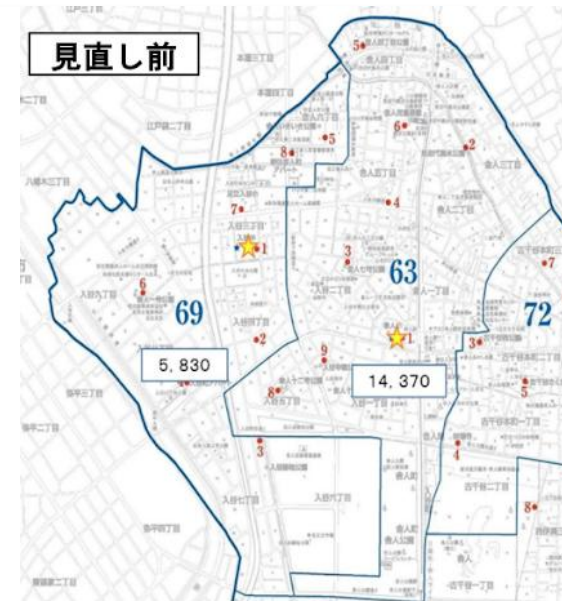
(2) 期日前投票所の増設

期日前投票所利用者の増加に伴う混雑緩和や利便性の向上を図るため、期日前投票所を3箇所増設しました(舎人地域学習センター、花畑地域学習センター、扇住区センター)。

(3) 大型商業施設等への期日前投票所の設置

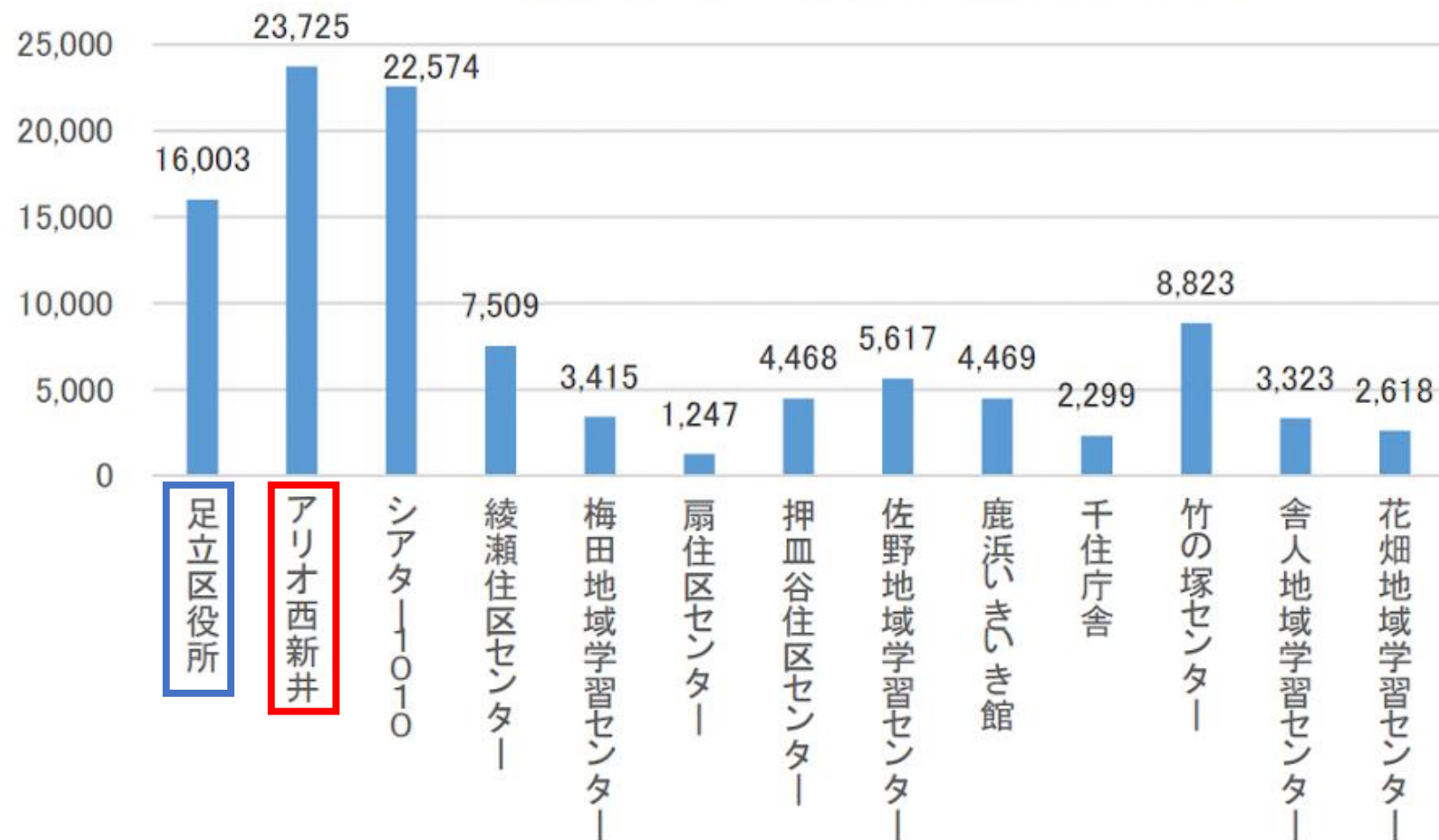
期日前投票所利用者の増加に伴い、利便性の向上とファミリー層の利用拡大を図り、アリオ西新井へ設置(ギャラクシティからの移転)しました。

(過大規模の解消の例) 舎人地区 2投票区を3投票区へ分割



資料2-③ 足立区令和4年7月10日参议院議員選挙の利用者数

施設別期日前投票所利用者数



※1 区役所、アリオ西新井、シアター1010は17日間、他施設は8日間開設

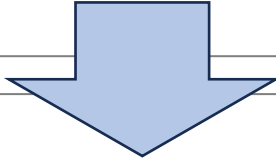
※2 扇住区センター、舎人・花畑センターの3箇所は令和4年新設

※3 アリオ西新井はギャラクシティから、綾瀬住区センターは勤労福祉会館から移転

資料2-④ 足立区アリオ西新井投票所の様子(大型商業施設)



資料2-⑤ 各自治体における投票環境について

	港区	足立区	福井県大野市	
期日前投票	各支所7か所で実施	行政施設に加え、 大型商業施設 (アリオ西新井) 内に 投票所を設置	ショッピングモール (Vio) に 投票所を設置	
投票日 当日	42の投票所に加え 芝総合支所に 共通投票所設置を 試行実施中		 期日前投票所 だけでなく 当日の共通投票所 にもなっている	全ての投票所を 共通投票所に
システム	二重投票防止として 電話確認	有線でネットワーク 構築	無線でネットワーク 構築	無線でネットワーク 構築

資料2-⑥ 福井県大野市 投票率改善実績

🏠 > ふくい地域ニュース

大野 若年層の投票率改善 共通投票所初導入など効果 7月参院選

2025年9月9日 05時05分 (9月9日 09時21分更新)



参院選で大勢が足を運んだヴィオの共通投票所 = 7月20日、大野市欽掛で

7月の参院選で、大野市内有権者なら誰でも投票できる「共通投票所」を県内で初めて導入するなど投票改革に取り組んだ市は8日、若年層の投票率が大きく改善したと明らかにした。2022年の前回参院選と比べ、10代が15・07ポイント増の43・59%、20代が13・19ポイント増の48・04%、30代が10・65ポイント増の55・11%といずれも2桁の伸び。全体では6ポイント増の60・68%だった。（北原愛）

市議会本会議の木戸屋八代実議員（もえぎ会）の一般質問に、市選管事務局の森永宣昭書記長が答えた。投票所のデジタル化を進めた結果、市民はショッピングモール・ヴィオを含む全17カ所からの投票が可能に。...

資料2-⑦ 自治体における投票環境改善事例

参院選で「共通投票所」 大野市と勝山市が福井県内初の設置へ

06月16日 11時07分



ことしの夏の参議院選挙で勝山市と大野市は、投票日当日に市内の有権者なら誰でも投票ができる「共通投票所」を、県内で初めて設けることを決めました。

「共通投票所」はその自治体に住む有権者なら誰でも投票できる投票所として設置されるもので、総務省のまとめでは、去年10月の衆議院選挙では18

の道府県に合わせて217か所が設置されました。

県内ではこれまで「共通投票所」の設置はありませんでしたが、ことし夏の参議院選挙で、勝山市と大野市が初めて設置することを決めました。

一方、大野市は、デジタル化を進め、市内17の投票所すべてを共通投票所とし、市内の有権者ならいずれの投票所でも投票できるようにします。

地域

広～い市域の全投票所で投票できるシステム、山間部の市が導入 二重投票防止もばっちり

南丹市

2024年10月26日 17:00



南丹市役所

27日投開票の衆院選で、京都府南丹市選挙管理委員会は、有権者が市内のどの投票所も利用できる「共通投票所」制度を導入する。園部町の「ファッション館ダイコー」も商業施設では初めて投開票日の投票場所になる。投票所を削減している中、一票を投じる環境維持に努めるとしている。

同制度では、居住地にかかわらず全投票所を利用できる。通勤や買い物のついでに寄れるほか、近くの投票所がバリアフリー非対応の場合、別の施設に行くこともできる。

市は昨年度に2600万円かけて二重投票を防ぐシステム改修を済ませ、今回から導入する。府内では向日市に続く2例目。



京都府南丹市